



連日暑い日が続く、プールあそびに最適の季節です。しかし、7月は出雲市でもコロナ感染報告3桁の日が続いたため、まだ数回しか出来ておらず、本当に残念です！！

また、今年こそ保護者の皆様と共に楽しめるお祭りにしようと計画を立て、準備も進めていた「なつまつり」も自粛期間ということで中止とさせていただくこととなりました。いつなら開催できるという見通しも立たず、8月19日に園児のみの行事として開催する予定にしています。振り返ってみればこの3年間、いろんなことを我慢する日々が続いています。

保育園でも行事の縮小や中止、お出かけすることも少なくなりました。日々の保育でも、思う存分触れ合ったり、体を動かしたり、「おいしいね」とおしゃべりを楽しみながら食事をすることも躊躇する状況です。

一日も早くこの感染の大きな山を乗り越え、コロナ前と同じにはならないまでも、少し安心して過ごせるようになるといいなと願うばかりです。

◎8月6日まで保育園利用について自粛要請が出ています。引き続き可能な方は保育園の利用時間や利用日についてご協力をお願いいたします。



今月の予定



12日(金)～16日(火) 夏季希望保育

*お申し込みの方には大変お手数をお掛けいたしますが、お弁当の準備をおねがいします



19日(金) なつまつり(園児のみ)

23日(火) 誕生会

26日(金) みかん組親子活動



マスク着用によるコミュニケーションへの影響について

2019年に始まったコロナ禍は私たちの生活様式を一変させてしまいました。一時日常が戻ってくるような期待もありましたが、また感染の波が押し寄せ、出雲市でのコロナ報告が増え始めた7月6日からみかん・めろん・ぶどう組の子どもたちは、室内で活動するときには基本マスクを着用するようになりました。職員は子どもと接するときにはマスクを外さない日々がずっと続いています。

まだ言葉で十分意思疎通が出来ない子どもは、表情や声のトーン、視線や身振り手振りなど、総合的な様子を見ながら他者とコミュニケーションをとっていますが、今、その一番大きなウエイトを占める表情が見えないため、笑顔であれば「大丈夫！」怒っている表情なら「いけないことなんだ」と判断することが出来にくいです。

保育者は声のトーンや温かなまなざしを意識していること、分かりやすい身振りや手ぶりを添えているということを以前お伝えしました。ただ、保育園生活のなかで、いくら保育者が笑顔を作っても目元だけでは笑顔なのか真顔なのか、すなわち自分の行動が受け入れら



れているのか、慎むべきと思われるのか、子どもは瞬時に判断が出来にくく、マスクなしの状況に比べるとコミュニケーション力の育ちを難しくしているといわれています。

ご家庭では皆さんの体調が良い時にはマスクを外しておられると思います。その時には

◎笑った顔、うれしい顔、困った顔、怒った顔・・・豊かな表情を意識してお子さんに
見せるようにしましょう！ 特に笑顔をたくさん見せてあげてくださいね(^ ^♪

◎食事の際は、「おいしいね」「よく噛んで食べようね」とおいしそうに食べて見せ、よく噛む様子も見せるようにしましょう！噛むことは脳を活性化させ、知育にもつながります。



保育園で不足する「表情から相手の思いを察する力」を、是非ご家庭で
彩り豊かな生活を楽しみながら養ってほしいと思います！

みかん組以上のマスク着用期間ですが、出雲市の感染報告が50名程度まで下がり、地域の感染状況も落ち着いてくれば緩めたいと考えています。暑い時期マスクを着用することによって子どもの熱中症リスクは高まりますが、しっかり予防に務めていきます。今しばらくマスクの準備をお願いいたします。